

学校の教育目標 **進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成**

評価段階 4・・・よくできている(頻繁に行っている) 3・・・だいたいできている(かなり行っている) 2・・・あまりできていない(時々行っている) 1・・・できていない(ほとんど行っていない)

3.6・・・90% 3.2・・・80% 3.1以下・・・79%以下

重点目標	実践事項	具体的方策・手立て・内容	自己評価(平均)					分析・考察(○) 改善策(☆)	学校関係者評価委員会の意見	学校関係者評価
			児童	教師	保護者	平均	全体			
【確かな学力の定着】 運んで学力が子	日常授業の改善	文章や問題の読解力を鍛える授業の工夫	3.2	2.8	3.5	3.2	3.2 (80%)	○ 少人数を生かした指導や見届けが十分にできた。次年度も継続していきたい。 ○ 全国学テ・みやざき学テの過去問を解かせ解説したり、文章読解のテキストを活用したりして児童の読解力育成に全職員で取り組むことができた。 ○ 今年度から本格導入された児童用タブレットPCを授業中に活用し、主体的・対話的で深い学びとなるよう授業改善を図ってきた。今後も継続して研究していかなければいけない。 ○ 読書指導については、学年の実態にバラつきが見られた。また読書量の個人差が大きかった。☆ 次年度は、11月を読書月間と位置付け、月目標を「たくさん本に親しもう」とする。また、読書祭りがある週を読書週間とし、児童がたくさん本を手取るような部分をとっていきたい。 ○ コロナ禍で地域の人材を思うように活用できなかった部分がある。 ☆ コロナが収まってきたら、すぐにでも活用できるよう準備しておきたい。	・家でゲームをする時間が長い児童がいるのではないかと。 ・児童と保護者の評価が似ているが、教師の評価が低いのをみると、教師の姿勢に熱意を感じる。すばらしいことだ。 ・「主体的、対話的で深い学び」について私たちがもつ歳児からの保育を目標に向かって研究している。生活、遊びの環境づくり、遊びの見守り方、言葉の掛け方等日々学んでいる。 ・学力に応じた見守りに感謝している。	3.4
		4+4のチェックポイントを基盤とした授業の構築	3.5	2.9	3.2					
		・少人数を生かした「見届ける」指導の徹底	3.7	3.2	3.6	3.5				
	・主体的・対話的で深い学びへの転換	3.5	2.5	3.4	3.3					
		3.7								
	基礎的・基本的学習内容の定着	・かがやきタイムを活用した徹底指導	3.7	2.9	3.3					
	・読書の推奨	3.3	2.7	2.8	2.9					
	特別支援教育の充実	・迅速なケース会議の開催と取り出し指導の工夫	3.0	3.4	3.2					
	一貫教育の推進と外部との連携	・地域素材や地域人材の活用及び外部との連携	2.5	3.5	3.0					
【心豊かな子】 心の教育の充実	基本的生活習慣の定着	・素早く静かな廊下歩行	3.2	2.3	2.8	3.2 (80%)	○ 「素早く静かな廊下歩行」について、児童の意識ではかなり行っていると評価しているが、教師の評価は低い。児童にとって、静かな廊下歩行という具体的な行動の捉え方が曖昧なのではないかと思われる。 ☆ 素早く静かな廊下歩行とはこういうことだと、実際に教師がやって見せて指導する必要がある。 ○ 「先取りあいさつや場に応じた言葉遣い」について、教師の評価は低いが児童と保護者の評価はだいたいできていると評価している。児童は、学校でも地域でもあいさつや丁寧な言葉遣いをしていて意識しているようだ。 ☆ 実践できている児童とそうでない児童とに分かれてもいる実態がある。教師が模範となってやって見せ、実践できている児童をほめることを繰り返していく。 ○ 「清掃活動による学校磨きと心磨き」について、保護者の評価が低い。保護者は、家庭において身の回りの整理整頓ができていないという思いが強いことが分かる。 ☆ 学校においては、教室で常に整理整頓を心がけて習慣化するように指導を継続していく。 ○ 「素早い準備と切り替え」について、児童の評価は高いが教師の評価は低い。児童自身は相応に素早い準備をしている意識はあるが、教師から見た児童の実態はやや努力が必要であるという結果と思われる。 ☆ この項目も「素早く静かな廊下歩行」と同様に、教師がやって見せて指導する必要がある。 ○ 「登下校指導の徹底」について、児童と保護者の評価はだいたいできていると評価しているが、教師の評価は低い。 ☆ 学期初めの立番当番の実施、月に1回の登校班会や登校班ノート記入の実施を通して、教師は常に各地区の実態把握を図りながら、児童の交通安全の意識を高めていく。	・学校も家庭も「学びの場」と考えれば、義務教育のうちには大いに失敗と見本を見せることが必要と思う。 ・伝えたい事柄が明確なら、一度授業で取り上げ、子どもにも協同で考えさせる場も必要ではないだろうか。 ・「一人一人の心の安定」という実践事項をいれたらどうだろう。	3.1	
		・先取りあいさつや場に応じた言葉遣い	3.5	2.6	3.1					
			3.2	3.0						
	・清掃活動による学校磨きと心磨き	3.7	3.0	2.4	3.0					
	「午前中5時間授業」への対応	・素早い準備と切り替え	3.4	2.7	3.1					
		・全教師が全児童に「かかわる」迅速な実態把握(心タイム)	3.7	3.1	3.5					3.4
	いじめのない学校づくり			3.2						
	・温かな言葉遣いを意識した学校生活	3.5	2.8	3.4	3.2					
	規範意識・安全意識の向上	・登下校指導の徹底(集団登下校)	3.8	2.6	3.1	3.2				
		・交通安全及び防災教育の充実	3.8	2.9	3.4					
【たくましい体の育成】 元気な子	基礎体力の向上	・運動時間を保障した体育科授業の充実	3.5	3.4	3.3	3.4	3.2 (80%)	○ 「体力向上プランの推進」の項目については、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、思ったような教育活動を展開することができなかった。新体力テストの目標値に達していない種目もあり、教職員への周知が足りなかった。ちよこっと運動の奨励はしているが、習慣化までは至っていない。 ☆ ちよこっと運動の内容を変えたり、学級等で実施したりして、運動の習慣化を図る。また、すくすくタイム等を使って、目標値に到達できるように努めていく。さらに、新体力テストの結果については、教職員への周知を図り、協力を得ていく。 ○ 「衛生的な生活習慣の徹底」と「定期的な安全点検の徹底」の項目については、全体平均より高い数値がみられた。衛生的な生活習慣については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、衛生指導の場面も増え、予防行動の習慣化や、意識の高まりがあったためだと考える。定期的な安全点検の徹底については、安全点検の項目にトイレを追加したり、安全点検の結果を速やかに教職員に周知・改善したりして、職員全体の意識が高まったためであると思われる。次年度以降も継続して、実施していきたい。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、性教育の実施日がなかなか定まらず、一部の学年に指導が偏ったり、実施できなかったりした学年もあった。 ☆ 学年部で実施日を設け、計画的に実施したり、教職員向けの研修を計画したりしていく必要がある。 ○ 食に関する教育については、栄養教諭や外部講師などの専門職から話を聞く機会を設けることができ、食に関する意識を高めていくことができた。今後も、継続して、食に関する教育の推進を図っていきたい。	・たくましい体と脳には食生活の充実が基本と考える。家庭でそれが出来ているようなので、すばらしい。 ・新型コロナウイルス感染症防止等による休業等がなかったことが何よりありがたかった。	3.4
		・体力テストの結果を受けた指導及び個別指導の充実	2.2	2.2						
		・生活の中でできる運動の推奨(ちよこっと運動等)・昼休みの外遊びの奨励	3.5	2.6	3.3	3.1				
	健康教育の充実		3.4							
		・基本的な生活習慣の定着(早寝・早起き、朝ごはん、歯みがき等)	3.8	2.8	3.5	3.5				
			3.8							
	・衛生的な生活及びコロナ禍での安全教育の充実	3.8	3.4	3.5	3.6					
	・食育指導の推進の充実	3.6	3.0	3.5	3.4					
	・性に関する指導の充実	2.6	2.6							
	校内安全教育の充実	・定期的な安全点検の徹底と確実な改善	3.6	3.8	3.5	3.6				
		・校内安全指導の推進								
【家庭と地域の連携】	家庭及び友愛園における家庭学習の見届け	・家庭学習の習慣化と充実に向けた保護者への啓発	3.6	3.0	3.2	3.3	3.0 (75%)	○ コロナウイルス感染症拡大のため、実施できていない活動が多々あった。 ☆ 感染症対策を練りながら、実施できそうな活動を自発的に取り入れていく。 ○ 学校HPIは、ほぼ毎日更新して、子ども達の学習や活動の様子を発信することができた。 ☆ 地域への学校便りの配付方法を検討する必要がある。	・茶臼原小学校の子どもたちは、メディア出演率が高いので楽しんだ。 ・開拓記念碑をみどりの少年団で見守ってほしい。	3.0
		みどりの少年団による地域への貢献	2.0	2.0						
	石井記念友愛社との連携及び地域の福祉施設(菜花園)、保育園との計画的な交流	・友愛社や菜花園、保育園等との連携	2.9	2.9						
		・学校、学級便り、HPの効果的な活用	3.4	3.8	3.6					